

研究課題名	2型糖尿病におけるグリコカリックス障害と糖尿病性腎臓病および動脈硬化との関連性の検討 (承認番号:2021-194)
研究の意義 ・目的	アルブミン尿は糖尿病性腎臓病の重要な臨床的指標ですが、最近、腎臓の毛細血管内皮細胞に存在するグリコカリックスと呼ばれる構造が、アルブミン尿を制御していることがわかってきました。グリコカリックスは障害を受けると、一部が血液中に剥がれるため、代表的な構成成分(ヒアルロン酸、Syndecan-1)の血中濃度が障害の程度を表す指標として用いられています。微量アルブミン尿のある1型糖尿病では、これらの血中濃度が高いといわれていますが、2型糖尿病では、いまのところ明らかではありません。また動脈硬化もグリコカリックス障害に影響すると考えられていますが、糖尿病性腎臓病では詳しく調べられていません。 今回の研究は、健常者および2型糖尿病の方を対象として血液中のグリコカリックス障害検査を行い、腎機能、アルブミン尿、動脈硬化などの関連性と、それに対する糖尿病の影響について調べます。これにより、糖尿病における血管合併症の病態を、グリコカリックス障害という観点から解明することに繋がると考えています。
研究を行う期間	2021年12月15日～2024年12月31日
研究協力をお願いしたい方 (対象者)	2009年1月1日～2017年5月10日の期間に大阪市立大学医学部附属病院の生活習慣病・糖尿病センターに通院または入院され、「疫学的方法並びに遺伝子解析を利用した糖尿病および動脈硬化に関する研究」について同意していただいた方。 ・2015年4月1日～2021年8月31日の期間に大阪市立大学医学部附属病院の先端予防医療部附属クリニック MedCity21 でライフスタイルコース、エグゼクティブコース(生活習慣病、メタボリックシンドローム、動脈硬化検査)による人間ドック検査を受診され、「がん、生活習慣病、慢性肺疾患、肝臓病、消化器病、婦人科、皮膚疾患などの成人に特徴的な疾患に関する多目的疫学研究(包括的同意目的)」について同意していただいた20歳以上の方。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目と、過去にご協力いただいた研究でご提供いただいた下記項目を本研究に使用させていただきます。 試料:【血液】 診療情報等:【病歴、診断名、年齢、性別、身長体重などの基礎データ、既往歴、合併症、内服薬などの診療データ、腎機能、尿アルブミンなどの検査データ、動脈硬化関連の検査データ】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部 代謝内分泌病態内科学のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部 代謝内分泌病態内科学のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 研究責任者 角谷佳則
本研究の利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 担当者氏名:角谷佳則 電話番号:(06) 6645-3806